い學者であり、その廣大和本草は評判のよくない書物であるが、同書についてはつぎのやうな事實が記してある。「この書について奇談あり。もと書林よりのあつらへものなるを打捨おける折しも、わが女の緣談極まり、明日いづれ金子入用のことある故、願主の書林へ行、金子借用のこと頼みければ、書林いはく、あつらへの品出來にて御持參ならば御用立べし。左なくて叶ひがたしと云。よつてその夜一夜の中に全部書立、明日持行、金子うけとりしと云。その秀才知べし。たとへ杜撰なりとも、かく大業の物を一夜の中に卒業なしつること恐るべしと云。」" 尙杉野氏ノ稿本ニヨツテ例ノ百珍本ノ一デアル豆腐百珍、及同後篇ノ著者ハ曾谷學川ナル篆刻家デアツタコトガ判ツタ由デアル。學川ハ便覽ニヨルト「性溫順謙遜にしてよく人と相和す。頗る酒をたのしみ、醉ば則新聲を發す。豆腐を好みて工みに煮分くるを樂みとす。其雅趣いふべからず」ト言フ。

○はすのはぎり屬ノ葉ニ就テ　(津山　尙)

はすのはぎり屬 (*Hernandia*) ハ典型的ノ全緣葉ヲ有スルト信ジラレテキルガソレハ本來ハ掌狀裂葉ノモノデアルラシイ。だんかうばいヤしろもじニ全緣葉ノモノカラ三裂葉ノモノマデガアルコトハ既ニ久内淸孝氏ガ本誌 3 卷 267-269 頁ニ報告サレタ通リデアル。前者ニハ時ニ五裂葉サヘ生ズルコトガアル。はすのはぎりニ於ケル例モコレニ多少似タ場合デアルト考ヘラレル。ニューギニアノ鳥頭半島ノプラフィ川地方ノ降雨林中デ採集シタ同屬ノ標本 (Aff. *Hernandia ovigera*) ハ 3—5 裂スル葉ヲ有シテキル。尤モコレハ幼樹ニ限ル樣デアル。同地方ノ別ノ部分デモ亦同樣ノ標本ヲ得タカラ、コレハ畸型的ノモノドハ考ヘラレナイ。一般ニ老樹ノモノ程葉ノ裂片ヤ鋸齒ガ不明瞭ニナツテ來ル事實ハ多クノ植物デ見ラレル通リデアル。例ヘバ *Gilibertia* デハ三出葉ガ全緣ニナルシ、*Ginkgo* ヤ *Bauchinia* デモ亦不明瞭ニナル。もちのき、さかき、やまもがし、やまももノ葉ハ全緣ガ普通デアルガ、切株カラノ枝ヤ發育不良ノモノハ鋸齒ガアリ、ひひらぎ、りんぼくノ老樹ノモノハ全緣デアル。コレカラ見ルトだんかうばい、しろもじハ多少異ツタ範疇ニ屬スル。又 *Tilia*, *Pterocarya* 等ノ子葉ニ深イ裂片ガアルノニ普通葉ニソレガナイノモ少シ異ツタ例デアル。

○たこのきノ名ノ起リ　(津山　尙)

大東亞戰爭ガ初マツテ以來南方植物ニ對スル一般ノ關心ガトミニ高マツタ。ソノ中デモたこのきト言フ名ハ非常ニ一般化シテ新聞ノ現地報告ヤ隨筆ヤ時ニハ小說ノ中ニサヘ出テクル樣ニナツタ。勿論正シクハたこのきハ小笠原島特產ノ *Pandanus boninensis* WARBURG ニ限ルノデコノコトハ植物學ヲヤル人達ナラ先刻承知シテキルコトデアル。ソレ故南方ノソレハ廣クたこのき屬ヲ指シテキル譯デアル。コノたこのきハ何時誰ニヨツテ名付ケラレタノデアラウカ。*Pandanus* 屬ニ對シテハコレヨリ古ク有名ナ和名ハ多クアツタ筈デアル。日本人ニハ既ニ琉球ノ *Pandanus tectorius* SOLANDER ガ知ラレ、阿咀呢（アタニ、アダン）榮蘭（エラン）ナドノ名デ人口ニ膾炙シテキタノデアル。阿部櫟齋ノ草木